



ワイレス光学式マウス 取扱説明書

MA-WH115シリーズ



最初に
ご確認ください

●マウス本体	1台
●直付けレシーバー	1台
●単四乾電池(テスト用)	2本
●取扱説明書	1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEB(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

- はじめに
- 健康に関する注意
- 警告
- 対応機種・対応OS
- 接続手順
- 特長
- 各部の名称とはたらき
- マウスの準備(電池の入れ方、電源のON/OFF)
- マウスの接続(Windows用)
- マウスの接続(Mac OS X用)
- ID(チャンネル)の設定方法
- ご使用上の注意
- 「故障かな…」と思ったら
- オンライン製品サポート
- 保証規定

1. はじめに

この度は、ワイレス光学式マウス(以降「本製品」といいます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

2. 健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。
マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。
また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

3. 警告

■テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の電波の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。
ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることをご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。
ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいははいくつかを組合わせてお試しください。
●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
●テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
●状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注 意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

4. 対応機種・対応OS

■対応機種

●Windows搭載パソコン、各社DOS/VIパソコン、NEC PC984Xシリーズ

●Apple Macシリーズ

■USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種

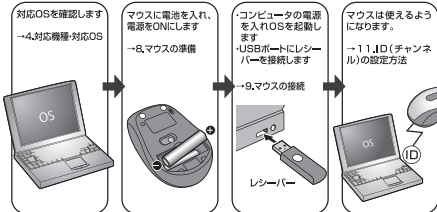
●対応OS ●Mac OS X(10.2以降)

●Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディタ及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。またホイールボタン押し下げによる動作はサポートしません。

※機種により対応できないものもあります。
※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

5. 接続手順

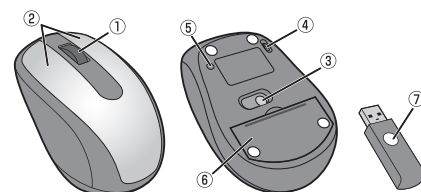
詳細は各項目をご覧ください。



6. 特長

本製品はRF方式のワイレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさもなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。
直付けレシーバーなのでデスク周りもスッキリ。電池式なので、携帯・モバイルにも便利です。ボールを使わない光学式で、チリやホコリがたまってボールの動きがスムーズでないといったことがない。メンテナンスフリー構造になっています。
本製品は、Windows標準ドライバで、スクロールやスクロールモードが使える簡単接続タイプのマウスです。
※ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

7. 各部の名称とはたらき(Macでは一部の機能がご使用いただけません)



①ホイール(スクロール)ボタン…………… インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて上下スクロールを可能にします。

■スクロールモード
インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。
■ズーム
ズームはMicrosoft® IntelliMouseの通常機能です。MS-OFFICE用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。
●「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。
●「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

④左ボタン・右ボタン…………… 左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごと設定されているマウスの動きも行います。またポップアップメニューの表示もすることが出来ます。
左利きの方法としては「マウスプロロギティ」の中「ボタンの設定(B)」にて、お好みに合わせて変更可能です。

③光学式センサー…………… 光学センサーが動きを敏感にくるから、正確で自然な動きを実現します。

④電源スイッチ…………… マウス本体の電源をON/OFFします。

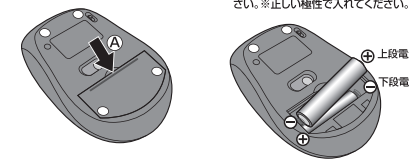
⑤IDセットボタン(マウス側)…………… ID設定を行います。

⑥電池カバー…………… このカバーを取外して、電池を入れます。

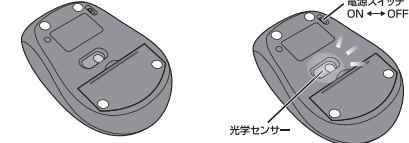
⑦IDセットボタン(LED(レシーバー側))…………… ID設定を行います。

8. マウスの準備(電池の入れ方、電源のON/OFF)

1.マウス裏面の電池カバーを、矢印の方向
②に押しながら引き上げて開きます。



3.電池カバーを取外したときと逆の手順で取付けます。



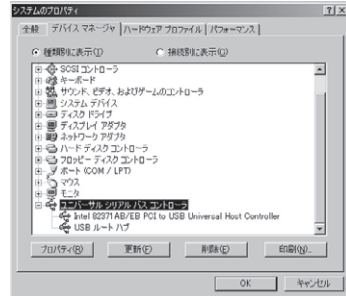
※マウスを動かしている際、カーソルの動きがスムーズでなくなったり光学センサーが点灯しなくなったり、電池を交換してください。
※電池交換の際には、新品の単四アルカリ乾電池をご利用ください。(付属の電池はテスト用ですので、電池寿命が短くなります。)
※異なったメーカーの電池を組合わせて使用しないでください。
※電池交換の際はマウスの電源をOFFの状態で行ってください。
※型になった電池をマウス内に置いておくと液漏れの原因になりますので、取出しにおいてください。

9. マウスの接続(Windows用)

■本製品をUSBポート接続する際の注意

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず初めにUSBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



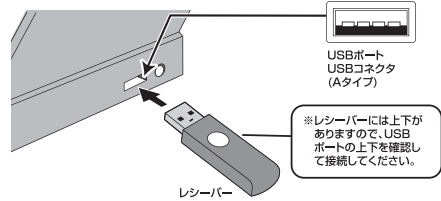
これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。
USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されている、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスが正常に見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。
一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

■BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合

●BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体の取扱説明書をご覧ください。

■レシーバーを接続

※注意:マウス用レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常驻ファイル)を終了させておくことをお薦めします。
①コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
②レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続します。

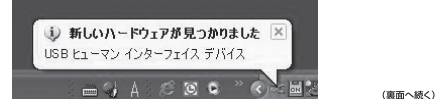


③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。

《Windows 7の場合》
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USB入力デバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

《Windows Vistaの場合》
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

《Windows XP・2000・Meの場合》
タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。



(裏面へ続く)

9.マウスの接続(Windows用)(続き)

(Windows 98SE・98の場合)

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。

※Windows 98SEでは、下記の作業が発生しますので、手順に従って、インストール作業を行ってください。

●新しいドライバを検索している
ます。
USBヒューマンインターフェイス
デバイス
―― 次へ――



●検索方法を選択してください。
●使用中のデバイスに最適なドライバを検索する
(推奨)――次へ――



●新しいドライバはハードウェアのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェック
マーク(☑)を入れますに
――次へ――



もし、検索場所を聞いてきたら、☒検索場所の設定(L)

C:\WINDOWS\INF ※

もしくはC:\WINDOWS\OPTIONS\CABS
※もし、上記の検索場所がドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows OSのCD-ROM
(パソコン購入時に同梱)を挿入し、☒CD-ROMドライブ(L)にチェックを付けてください。

●次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス ― 次へ――



●USBヒューマンインターフェイスデバイス――完了



※接続が完了したら、「11.ID設定方法」へ。

10.マウスの接続(Mac OS X用)

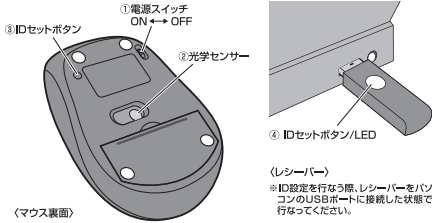
Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。またホイールボタンをクリックすることによる動作はサポートしません。

- 1) コンピュータの電源を入れ、Mac OS Xを完全に起動します。
- 2) 本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。
- 3) ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。
- 4) これでマウスを使用いただけます。

11.ID(チャンネル)の設定方法

※重要(必ずお読みください)

●マウスの接続が完了したら、マウスを動かしてみてください。これでマウスが正常に動作する場合、ID設定を行なう必要ありません。
パソコンの電源を立上げた際、マウスの動作がスムーズでなかったり、動作しなかった場合は、下記の手順に従ってID設定を行なってください。



ID番号を設定する前にマウスの①(電源スイッチ)をONにして②(光学センサー)が点灯していることを確認します。
もし点灯していない場合は、電池が正しく入っているかを確認してください。
1. ペン先等を使ってマウスの③(IDセットボタン)を押します。
2. マウスをレシーバーに近づけて置きます。(20cm以内)
3. レシーバーの④(IDセットボタン)を1回だけ押してすぐに離します。
4. レシーバーの④(LED)が点滅したら、ID設定は完了です。
5. マウスを動かした際、レシーバーの④(LED)が点滅します。
※IDは1～256通りあり、自動的に設定されます。2台以上のマウスを有効使用範囲内でご使用の際に、マウスの動きがスムーズでないといった場合には、このID設定を再度行ってください。
※パソコンによっては、電源立上げ時にこのID設定を行なう必要がある機種があります。

12.ご使用上の注意

■反射する素材や透明な素材の上での使用

光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご使用の際は、トラッキング性能が低下します。
☞マウスパッドや雑誌等の上でご使用になってみてください。

■スチール天板など金属面(磁性体)の上での使用

スチール天板など金属面(磁性体)の上では、電波信号が乱反射し、マウスカーソルがスムーズでない場合があります。
☞マウスパッドや雑誌等の上でご使用になってみてください。または、別売りの延長ケーブル(KU-EN1等)を使って、レシーバーとマウスの距離を近づけてください。

デスクトップパソコン(レシーバーをパソコン背面に接続)での使用

レシーバーとマウス本体の距離が遠くなった場合、電波が届かなくなり、動作が不安定になることがあります。
☞別売りの延長ケーブル(KU-EN1等)を使って、レシーバーを見える位置へ置いてください。

13.「故障かな…」と思ったら

Q.マウス(マウスカーソル)が動かない。

1. マウス裏面の光学センサーが光っていない場合、スリープモードに入っている場合がありますので、右ボタンや左ボタンを押してください。また、電池が正しく挿入されていることが確認してください。("8.マウスの準備"参照)
2. レシーバーおよびマウスのIDが正しく設定されているかどうか確認してください。(設定方法は「11.IDの設定方法」参照)
3. 光学センサーが点灯していない場合、電源のON-OFFスイッチを一度軽く押してみてください。
4. 光学センサーが光らなくなった場合、電池寿命がもしも尽きたので、電池を交換してみてください。
5. 付属の電池(単四乾電池×2本)はテスト用です。("8.マウスの準備"参照)
6. レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(KU-EN等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q.マウスをしばらく操作しないと、マウスカーソルが動かなくなる。

1. 本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを復帰したい場合は、右ボタンや左ボタンを押してください。

Q.マウスカーソルやスクロールの動きがスムーズでない。

1. 光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご使用の際は、トラッキング性能が低下しますので、避けてください。
2. 他のワイヤレスマウスと混信している場合がありますので、ID番号の設定をやり直してみてください。
3. レシーバーとマウスの距離を調節してみてください。レシーバーとマウスの距離は1mの範囲でご使用ください。
4. 金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、厚みのある雑誌やマウスパッド等の上でご使用になってみてください。
5. ノートパソコンでご使用の際、片手をノートパソコンの上に置いてマウスを操作すると、このような現象が現れる場合がありますので、その手をノートパソコンの上から取り除いてみてください。
6. レシーバーをパソコンの背面など見えにくい位置に接続している場合は、別売りの延長ケーブル(KU-EN1等)を使って、レシーバーを見える位置に出してください。

14.オンライン製品サポート

お問合せは弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)より「サポート」→「お問い合わせセンター」→「製品について」→「マウス」のリンクをたどり、WEBでのお問い合わせ「入力フォームはこちら」に必要事項を記入して送信してください。



15.保証規定

- 1) 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に品質を保証しております。万が一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2) 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - ① 保証書をご提示いただけない場合。
 - ② 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ③ 故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - ④ 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - ⑤ 天災地災、ならびに公害や異常電圧その他の外要因による故障及び損傷。
- 3) お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4) 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5) 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 6) 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておられません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7) 修理に依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様の負担となります。
- 8) 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9) 保証書は日本国内においてのみ有効です。



サンワサプライ株式会社

2011.6現在
岡山サプサイセンター 〒770-0898 岡山県岡山市北区田前1-10-1 TEL:086-923-3111 FAX:086-923-5123
東京サプサイセンター 〒140-8566 東京都品川区大井6-5-8 TEL:03-5763-0011 FAX:03-5763-0233
札幌営業所 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL:011-611-3450 FAX:011-716-8990
仙台営業所 〒983-0851 仙台市宮城野区南原1-6-37 京栄仙台ビル TEL:022-257-4638 FAX:022-257-4633
名古屋営業所 〒463-0015 名古屋市中村区南1-6-7 7ルジアビル TEL:052-453-3931 FAX:052-453-2103
大阪営業所 〒538-0003 大阪市東淀川区東中島4-1-45 新大阪八千代ビル TEL:06-6395-5310 FAX:06-6395-5315
福岡営業所 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前8-20 新博多ビル TEL:092-471-6721 FAX:092-471-6078

11/06/KMD/sst